



第12・13回かながわ教育学講座

令和4年1月30日および2月6日、2週に渡ってかながわ教育学講座が開催されました。第12回・13回では、各グループで受講者が一人ずつ、授業発表を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各回で参加者を半分に分けて、少人数での実施となりました。



「授業発表①②」

かながわ教育学講座の集大成である今回、受講者たちは、第9回（12月5日）に行った模擬授業の際に受けたアドバイスを基に、指導案を改善し、また、それぞれが準備をした教材を携えて、授業発表に臨みました。

発表者は、「本時のねらい」「子どもに身に付けさせたい力」等を説明した後、10分間の模擬授業を行いました。授業発表の後はグループの仲間からのアドバイス、教育指導（専門）員や指導主事からの専門的な指導助言を受けました。

精一杯の工夫を凝らした受講者の授業は、これからの教育現場を担う気概に溢れ、どれも熱意を感じさせるものばかりでした。受講者の皆さんお疲れ様でした！



かながわ教育学講座は、今回をもって全13回を全て終了しました。受講者はこれまで、「神奈川県の求める教職員像」「コミュニケーション能力の育成」等の「人格的資質・情熱」に関わる講座、「インクルーシブ教育」「児童・生徒指導」「道徳教育」といった「課題解決力」に関わる講座、そして指導主事による授業づくりの講義や模範授業、受講者自身の模擬授業、今回の授業発表といった「授業力」に関わる講座を通して、神奈川県が求める「めざすべき教職員像」の基礎・基本を学びました。また、各回の講座においてグループの仲間との意見交換をすることで、自分の考えを深め、新たな視点に気付くことができました。これまでの学びを、ぜひ実際の教壇で発揮してほしいと思います。

受講者の感想

- 実際に授業をし、先生方や仲間からコメントを頂いたことで学ぶことが多かったです。もっと授業の経験を積んで、一つひとつの言葉に責任をもって児童と対話ができるようになりたいです。
- 自分の授業ばかりを気にしていましたが、他の方の授業とそれに対する先生方のご指導、アドバイスもとても参考になりました。
- 指導主事のアドバイスが的確で凄いなと思いました。教員採用試験本番には改善できるようにしたいです。